

**学力課題
の克服**

**当該年度までの学習内容の
確実な定着を図る取組を！**

**学力向上
担当者必見**

学力定着状況たしかめテストや全国・岡山県学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、課題を積み残したまま次の学年・校種に児童生徒を送らない取組を充実させましょう。

【対象学年】
小4・5・6年
中1・2・3年

【1月】※今すべきこと
・つまずきの傾向を把握
・課題解消に向けて何をどう取り組むかを検討

【1月～3月】
授業や補充学習、宿題等、全学年での取組の徹底

【春休み】
当該年度までの学力の課題を取り入れた復習

【4月～】
進級学年の学習をスムーズにスタート

- ①学力調査結果や日々の授業等から、定着が不十分な学習内容(「何を」「どのように」理解できていないのか)を学級や学年で明確にし、教員間で共有する
- ②活用資料(「ふりかえりプリント集」「B問題解説資料」等)や場(補充学習や宿題等)を決定し、共有する

- ①提出物の点検(定着状況の把握)
- ②教師による評価(頑張りを認める言葉や記号《まる付け、スタンプ、A・B等》による承認と意欲付け)
- ③誤答を正答に導く教師による解説

管内の「弱み」
管内の「弱み」は、全国・県調査やたしかめテストにおいて、ほぼ共通しています。

小学校
【国語】書くこと(目的や意図に応じて書く事柄を整理等)、読むこと(複数の叙述を基に捉える等)に関する学習 等
【算数】量と測定(単位量あたり、図形の性質等)、数量関係(計算の規則性、割合等)に関する知識・技能の活用 等

中学校
【国語】書くこと(文章の意味を捉えて考えを書く等)、読むこと(登場人物の言動の意味を理解する、目的に応じて必要な情報を読み取る等)に関する学習 等
【数学】全領域(「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」)での知識・技能の習得 等